

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード

・株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

年間IRカレンダー

第2 四半期			第3 四半期			第4 四半期			第1 四半期		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1四半期開示	第2四半期決算		第2四半期決算発表 第2四半期決算説明会			第3四半期開示	本決算		決算発表 決算説明会	株主総会	

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4
日本橋プラザビル5階
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林に配慮して適切に管理された
森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを
使用しています。

第36期 決算報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日
証券コード：6890



未来を創り出す技術力

FerroTec
株式会社 フェローテック



代表取締役社長
山村 章

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに第36期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、スマートフォンやタブレット端末など電子機器は堅調に推移し、半導体や液晶パネル業界での設備稼働率は高い状況が続きました。これにより当社グループの MATERIAL 製品も好調に推移しました。

自動車産業では北米と中国市場での販売が通年をとおして好調であり、当社のコア技術であるサーモモジュールも自動車温調シート向けが伸長しました。同製品は、ウォーターサーバーや美容家電などへの採用が進み、皆さまの生活の中でも貢献しております。

一方、太陽電池産業については、太陽光パネルの価格下落の影響により、顧客の生産調整や経営破綻などがあり厳しい事業環境でしたが、収益改善策を実行し徐々に効果が表れております。また、業容拡大のためにM&A策も当期に実行しており、今後の成長路線へのステップであるのご理解を賜りたいと存じます。

当社グループは、株主の皆さまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに努めております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

中国における大型液晶投資
および本格投資の始まる
有機EL投資から見る

真空シール 現状の把握と 今後の展望



1 液晶投資

中国の大手パネルメーカーを中心に8.5G/10.5Gの投資拡大継続の見通し(~2018年)。
当社の真空シールは製造装置メーカー真空プロセスおよび搬送ロボット回転機構向けの需要が旺盛

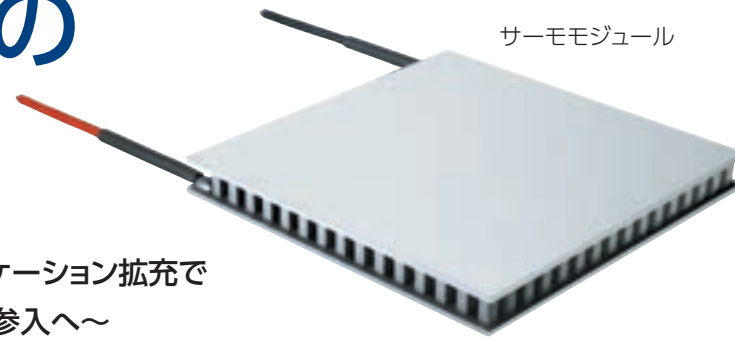
2 有機EL投資

有機ELのスマホ向け採用および車載・建築物向け需要が現実味を帯び、韓国・中国・日本各社の投資意欲が旺盛。同じく真空プロセス、搬送ロボット回転機構向けの真空シール需要が強く、当面顕著な伸びが期待される



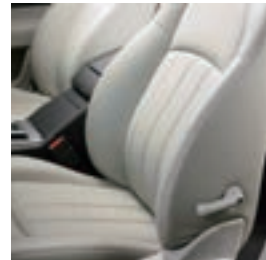
電子デバイスの成長拡大

サーモモジュールは、車載用の需要拡大
および医療・通信・民生品用途などのアプリケーション拡充で
成長路線に ～ユニット化・発電モジュール参入へ～



サーモモジュール

■ サーモモジュールについて



車載用

高級車向け温調シートの市場成長は、欧米を中心に継続。今後は中国市場でも成長機会に期待



各種産業用

新興国を中心とした通信用途、冷却用途が増す半導体製造装置・民生品用途、堅調な市場伸長を示す医療用途等に今後、ますますの採用増加・成長を見込む

サーモモジュール製造技術を応用した新製品 パワー半導体用基板

パワー半導体用基板とは、アルミナ、窒化アルミニウムセラミックスに銅回路板を共晶反応によって接合した放熱用絶縁基板

パワー半導体用基板



パワー半導体用基板の用途

- パワー半導体
- サーモモジュール(ペルチェ素子)
- ソリッドステートリレー(SSR)
- 発光ダイオード(LED)

パワー半導体用基板の今後の展望

- パワー半導体の主なアプリケーションは、電車・電動車両・エアコン・サーバー等の小型化・省エネ化。今後の市場成長率は年率10~12%
- 当社のパワー半導体用基板は、この市場拡大に対応し、日本・欧州・中国の主要顧客を中心に、生産能力の拡大と売上拡大に取り組む



■ 今後の展開 サーモモジュールの成長ドライバー

ユニット化

提案型の営業強化で、これまでのサーモモジュール単体ビジネスから、ヒートシンク・コントローラ等を含めたユニット単位でのビジネス拡大に注力

サーモモジュールのユニット化
業種別にサーモモジュールの標準ユニット化で売上増加を狙う

■ ユニット化の例



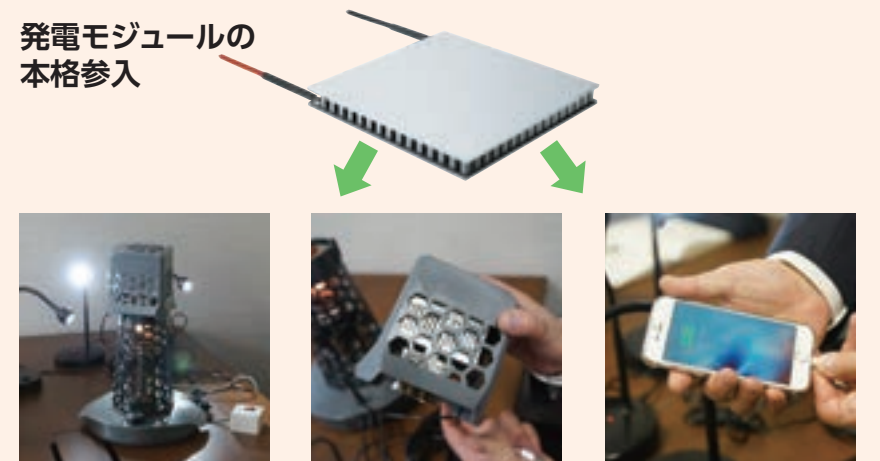
分野ごとの業態に合わせたユニットで提案型営業を拡大

- 医療機器
- 食品
- 半導体
- 自動車
- 通信機器
- 美容
- 家電製品

発電モジュール

灯油を燃やして温度差を生じさせる発電モジュールは、LEDライト点灯やモバイル充電などが可能。アウトドア用途およびアフリカ・アジア等の電気が通っていない地域の需要を見越した市場へ本格参入

発電モジュールの本格参入



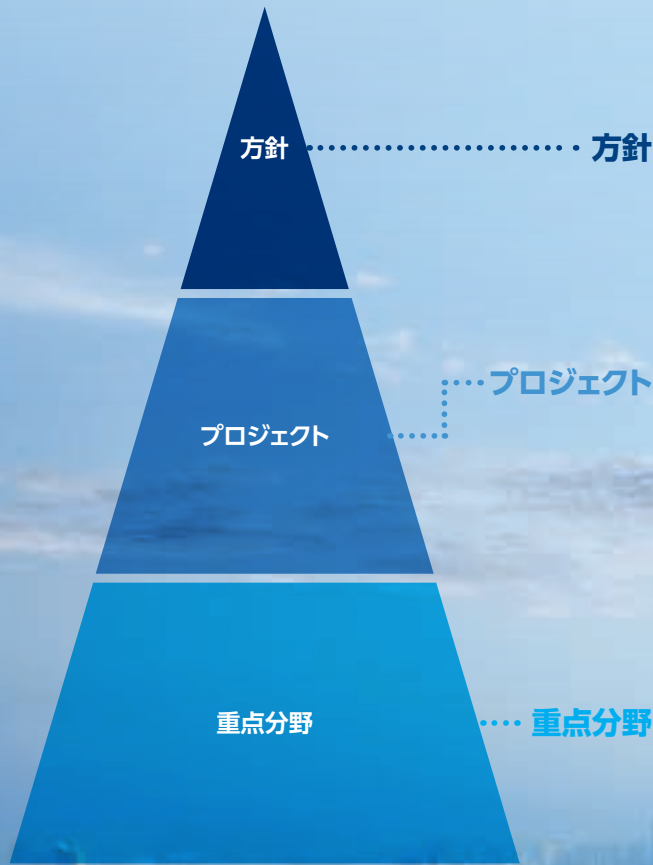
発電によりLEDライト点灯

サーモモジュールユニットを搭載

スマホの充電も可能

『中国製造2025』とは?

2015年5月に中国政府が発表した国家プロジェクトで、
2049年を最終年とする国内製造業強化策の1stステージにあたる
→中国の製造業は課題だったイノベーション能力の不足を克服することで、
量の優位から質の優位への転換を目指している



中国製造2025

「全面的な推進・
重点分野の飛躍」

製造業イノベーション
センターの建設

次世代情報技術
新素材
バイオ医薬・
高性能医療機器

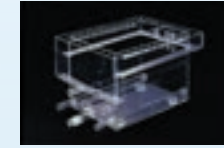
高度な技術が必要不可欠に

1 マテリアル製品拡大

今後中国内での最先端ハイテク・半導体投資が加速し、
当社の半導体製造装置向けマテリアル製品(消耗品)は
需要拡大の見通し

中国内の半導体製造装置の新規投資、その後の生産量
拡大により、当社の製造装置向け消耗品(石英、セラミッ
クス、シリコン、CVD-SiC)の製造装置メーカー、半導体
デバイスメーカーへの売上拡大を見込む。これに対応す
べく、着実に設備投資を進め、生産能力増強を図る

■装置関連事業を支える当社のマテリアル製品



石英



セラミックス



シリコン・パーツ



CVD-SiC

2 8インチウェーハ参入

中国国策によるウェーハの国内調達率向上(2025年
までに50%実現)に対応し、当社も8インチウェーハに
参入

銀川地区に8インチウェーハのインゴット製造会社を設
立。ウェーハの鏡面加工は上海工場を活用し、2017年
度以降の市場参入を果たすべく、現在開発に着手



半導体ウェーハ



2016年4月に着工開始(銀川)

3 洗浄ビジネスの展開

中国製造2025で加速する半導体・FPDの工場建
設顧客より強い増産要請があり、製造装置部品の
洗浄ビジネスを拡大する。

上海、天津に続き四川省内江に専用工場を建設



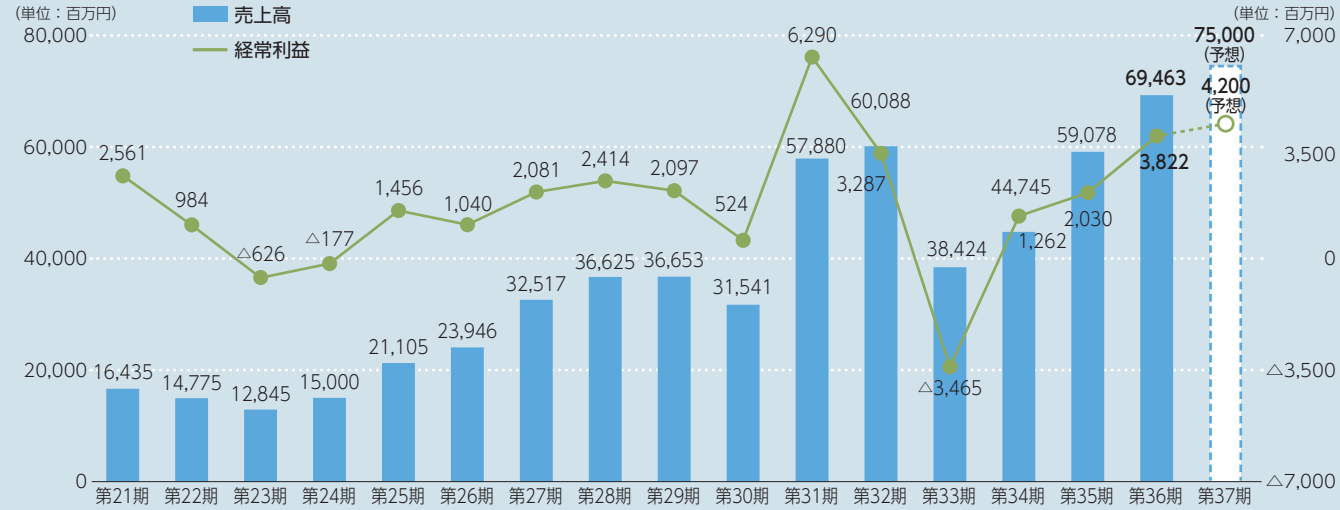
洗浄現場



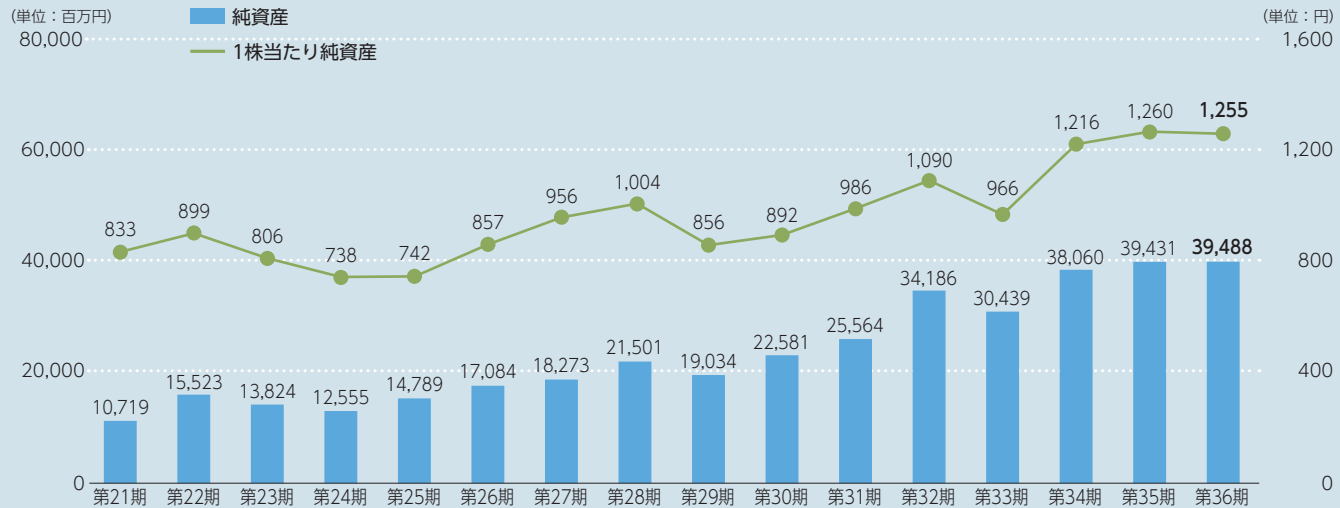
内江工場外観

財務ハイライト

売上高／経常利益

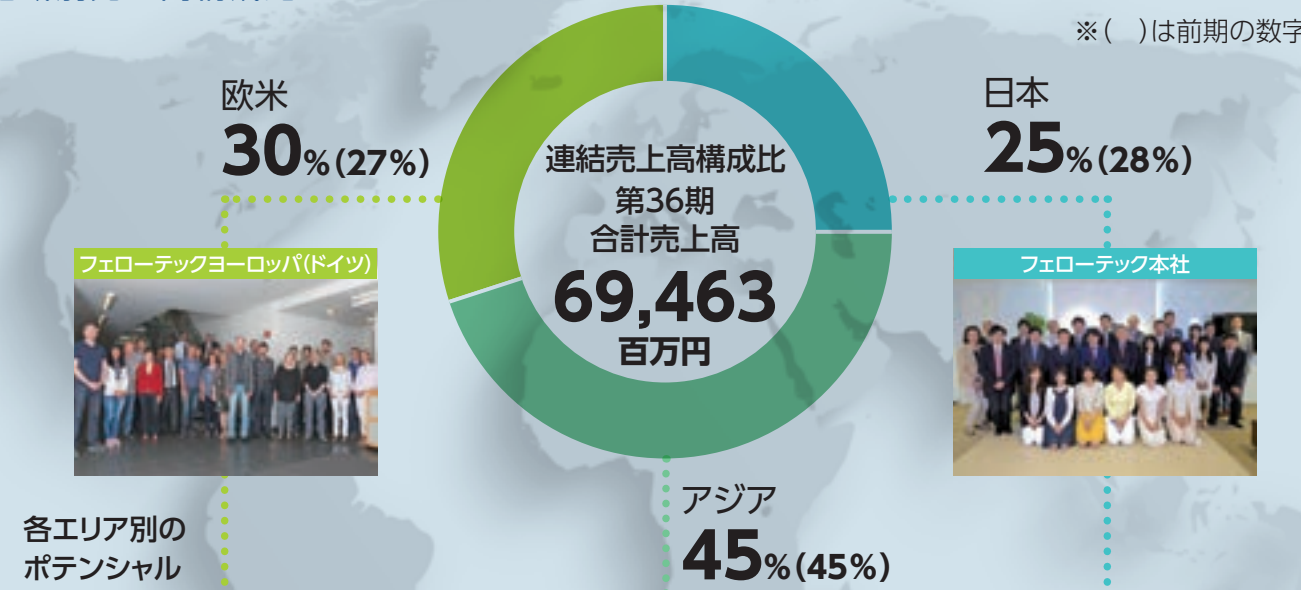


純資産／1株当たり純資産

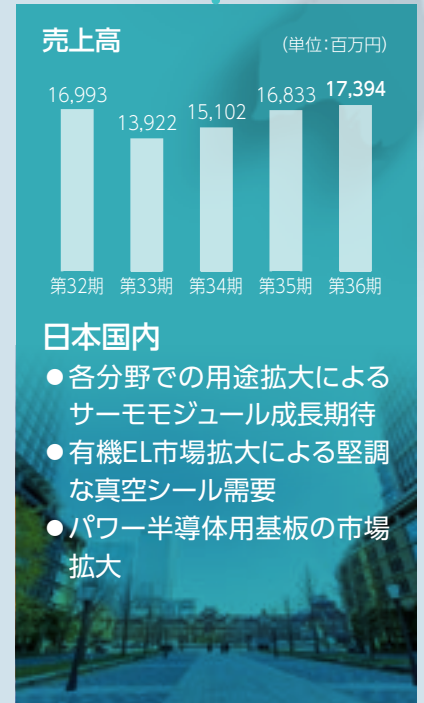
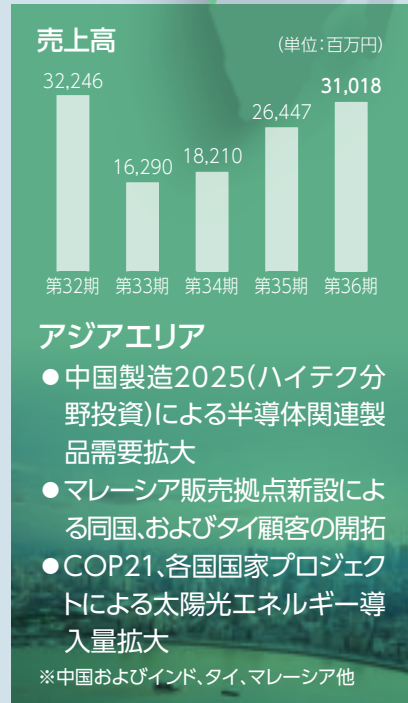


地域別売上高構成比

※()は前期の数字



各エリア別のポテンシャル

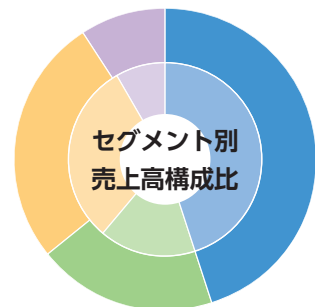


主力5製品の分野別 アプリケーション・マトリックス

当社の主力5製品を利用して開発された
身近にある製品を分野別にご紹介します。

		自動車産業分野	エレクトロニクス産業分野	家電民生品分野	医療分野
真空シール	装置関連 (半導体、FPD、LED等)		スマホ パソコン画面 ■	液晶テレビ ■	CTスキャン MRI ■
石英	装置関連 (半導体、FPD、LED等)		フラッシュメモリ CPU・LED ■	液晶テレビ ■	
セラミックス	装置関連 (半導体、FPD、LED等)		フラッシュメモリ CPU・LED ■		外科用内視鏡 医療用超音波エコー装置 ●
サーモモジュール	電子デバイス (自動車、半導体、家電 民生、医療、光通信等)		温調シート ナビゲーションシステム カップホルダー 電力制御パワー半導体 (DCB基板) ●	エアコン 空気清浄機 ワインセラー 美顔器 シェイバー ●	血液分析装置 DNA増幅器 生態試料検査装置 ●
磁性流体	電子デバイス (自動車、家電民生、医 療等)		カーオーディオ ●	オーディオ TVスピーカー ●	バイオメディカル用 磁性ナノ粒子 ●

セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「装置関連事業」「電子デバイス事業」および「太陽電池関連事業」の3事業を報告セグメントとしております。

装置関連事業

売上高 **314**億円 営業利益 **31**億円

石英製品、セラミックス製品、新たに加わったCVD-SiC製品など半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、通信機器用半導体およびフラッシュメモリなどの製造用途に需要があり、設備稼働率が高水準で推移したため堅調に推移しました。また、各種製造装置の機能部品である真空シールは、半導体微細化の設備需要に加え、大型液晶パネル用途が回復に転じ、有機ELパネル用途の引合いも増加しております。



セラミックス製品



真空シール

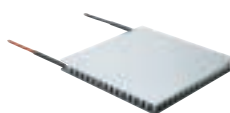
電子デバイス事業

売上高 **133**億円 営業利益 **24**億円

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国市場での自動車販売が堅調に推移し、リーマンショック以来の販売台数となりました。欧州や中国でも温調シートが搭載される高級車の販売が好調に推移しました。医療検査装置やバイオ関連機器用途の高機能製品も好調で、国内の民生分野や中国における通信機器分野の販売も堅調に推移し、売上高は過去最高となりました。



磁性流体



サーモモジュール

太陽電池関連事業

売上高 **185**億円 営業利益 **△16**億円

太陽電池産業は、太陽電池パネルの価格は需要増加に伴い底打ちしたものの、低位のまま推移しました。国内では、生産調整や事業撤退、海外では経営破綻などもあり、厳しい市場環境でした。ユーザーの経営破綻による貸倒引当金の発生や材料在庫の評価損などもあり、不本意な結果となりました。対処策として、当社のシリコン製品と石英坩堝の生産工場を内陸部へ移管してコスト削減に努めた結果、収益が改善傾向となりました。



太陽電池用セル



石英坩堝

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成28年3月31日現在	前期 平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	45,284	44,418
固定資産	33,484	34,992
有形固定資産	26,044	27,739
無形固定資産	2,062	1,875
投資その他の資産	5,377	5,377
資産合計	78,769	79,410
負債の部		
流動負債	29,351	31,535
固定負債	9,929	8,443
負債合計	39,280	39,979
純資産の部		
株主資本	30,199	28,286
その他の包括利益累計額	8,484	10,559
新株予約権	24	8
非支配株主持分 ^(注1)	780	575
純資産合計	39,488	39,431
負債純資産合計	78,769	79,410

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、(注1)「少数株主持分」は「非支配株主持分」に、(注2)「少数株主損益調整前当期純利益」は「当期純利益」に、(注3)「少数株主利益」は「非支配株主に帰属する当期純利益」に、(注4)「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」にそれぞれ名称が変更になりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	4,642	7,829
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,023	△3,552
財務活動による キャッシュ・フロー	△520	△2,111
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△576	801
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△479	2,966
現金及び現金同等物の 期首残高	10,517	7,550
現金及び現金同等物の 期末残高	10,038	10,517

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、(注5)「少数株主損益調整前当期純利益」は「当期純利益」に、(注6)「少数株主に係る包括利益」は「非支配株主に係る包括利益」にそれぞれ名称が変更になりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	69,463	59,078
売上原価	52,149	45,594
売上総利益	17,313	13,484
販売費及び一般管理費	13,289	11,813
営業利益	4,024	1,671
営業外収益	664	1,334
営業外費用	867	974
経常利益	3,822	2,030
特別利益	33	7
特別損失	499	3,362
税金等調整前当期純利益(△は損失)	3,356	△1,324
法人税等	1,266	879
当期純利益(△は損失) ^(注2)	2,089	△2,203
非支配株主に帰属する当期純損失(△) ^(注3)	△72	△71
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失) ^(注4)	2,162	△2,132

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
当期純利益(△は損失) ^(注5)	2,089	△2,203
その他の包括利益	△2,101	3,738
その他有価証券評価差額金	△126	△1
為替換算調整勘定	△1,968	3,747
退職給付に係る調整額	19	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	△26	37
包括利益	△11	1,534
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	86	1,542
非支配株主に係る包括利益 ^(注6)	△98	△7

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

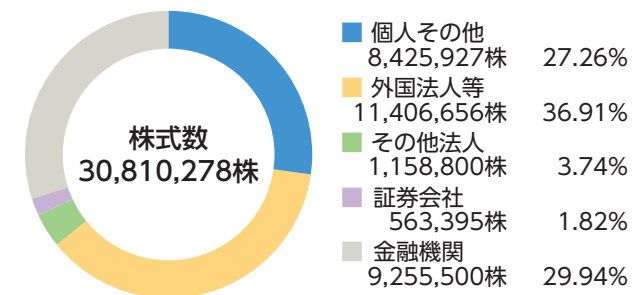
発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	30,903,702株
株主数	10,326名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,258,200	13.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,003,300	6.48
PICTET AND CIE (EUROPE) S. A.	985,300	3.18
山村 章	822,400	2.66
THE BANK OF NEW YORK 133522	763,066	2.46
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	745,289	2.41
野村信託銀行株式会社(投信口)	531,900	1.72
JP MORGAN CHASE BANK 385166	530,400	1.71
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	457,725	1.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.35

(注)1.当社は、自己株式93,424株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.表示単位未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注1)自己株式93,424株は上記の円グラフ中の株式数に含まれていません。
(注2)端数は丸め処理をしています。

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	132億134万6,010円
株式公開	株式会社東京証券取引所 JASDAQ 平成8年10月18日(証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	129名

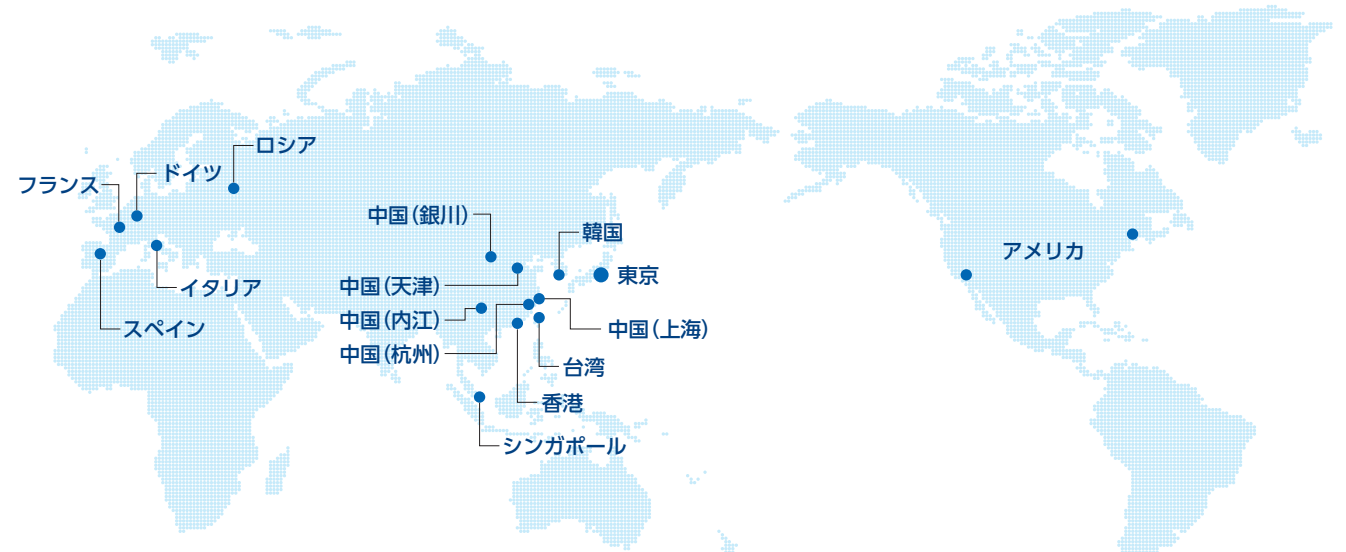
事業所

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル5階
関西営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイザビル1階
千葉工場	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

役員 (平成28年6月28日現在)

取締役	
代表取締役社長	山村 章
代表取締役副社長	山村 丈
代表取締役副社長	賀 賢 漢
取締役	小松 輝 寿
取締役	鈴木 孝 則
取締役	若木 啓 男
取締役	宮 永 英 治
社外取締役	片山 茂 雄
社外取締役	中村 久 三
監査役	
常勤社外監査役	樋口 隆 昌
社外監査役	福 森 久 美
社外監査役	藤 本 豪

グローバルネットワーク



国内	海外
株式会社フェローテックセラミックス(東京)	四川富楽徳科技発展有限公司(中国内江市)
株式会社アドマップ(岡山)	香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港)
	台湾飛羅得股份有限公司(台湾)
	Ferrotec Korea Corporation(韓国)
	FERROTEC CORPORATION SINGAPORE PTE LTD(シンガポール)
	Ferrotec(USA)Corporation(アメリカ)
	ADMAP Ceramics Inc.(アメリカ)
	Ferrotec Europe GmbH(ドイツ)
	Ferrotec S.A.(スペイン)
	Ferrotec S.R.L.(イタリア)
	Ferrotec SARL(フランス)
	Ferrotec Nord Corporation(ロシア)
	杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)
	杭州和源精密工具有限公司(中国杭州市)
	杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市)
	杭州晶鑫科技有限公司(中国杭州市)
	杭州大和江東新材料科技有限公司(中国杭州市)
	上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)
	上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)
	寧夏銀和新能源科技有限公司(中国銀川市)
	寧夏富楽徳石英材料有限公司(中国銀川市)
	富楽徳科技発展(天津)有限公司(中国天津市)